

あとがき

武田計測先端知財団はその顕彰事業として『武田賞』の授賞をその目的のひとつとして株式会社アドバンテストの創始者武田郁夫氏によつて2001年4月1日に設立された。その方針に従ってアントレプレナーシップを一つの基準として2001年度、2002年度に武田賞の授賞が行なわれたが、その後財政状況の悪化のため授賞を停止している。しかし、その間、ノミネーションおよび独自の調査と議論によって多くの方々の情報が蓄積される事となつた。そこで、賞を出す代わりにその情報の一部を出版することによって、武田賞の理念、その目指す所の思いを世の中に判つて戴こうと考え、これまでの受賞者も含めて企業の方はアントレプレナー列伝、大学などの中立機関の方はイノベータ列伝として出版する事とした。

武田賞は生活者のためにどのような価値を実現し、それがどのように生活者の富と豊かさ、幸福を増大させるかを重視して、その業績のもととなつた工学知とアントレプレナーシップに注目してきた。本書における人および内容の選択においても、新規事業創出につながっているかを重視した選択を行なつた。

猶、本財団の武田郁夫理事長もアントレプレナーの一人である。戦後まもない昭和29年にタケダ理研工業を設立された。最初に開発した製品は微少電流計であり、マイクロアンメータと名づけて発売された。当時戦後の精密装置のない時代にあつて好評を博し、大きい利益を上げた。その後、タケダ理研工業およびそれを引き継いだアドバンテストにとつて最大の製品となつたのは筆者等もお手伝いしたLSIテスターで、これまた武田氏の見通し、信念とねばりによるベンチャー精神がその成功と発展を導いたものである。

おわりに、本書にご登場いただいた10名の先生方にはお忙しい内をご面接いただいたり、原稿を見ていただいたり、お世話になりました事に厚く感謝申し上げます。また、財団で原稿を取りまとめ、出版社との連絡を戴いた池田純子さんに感謝いたします。

武田計測先端知財団 常任理事

垂井 康夫